

	2021/2022シーズンワールドカップ等参戦基準	2021/2022シーズンジュニア世界選手権参戦基準
ジャンプ男子	別紙参照	U20強化指定選手及び国内指定選手で、全日本選手権NH、12月に国内で開催される第52回名寄ビヤシリジャンプ大会・第37回吉田杯ジャンプ大会・国内合宿記録会の総合結果を参考に選出する。 ☒
ジャンプ女子 (11/1 赤字修正)	<p>■FIS World Cup Nizhny Tagil/Lillehammer/Klingenthal/Ramsau/Ljubno/Willingen選考方法 (派遣人数最大5名)</p> <p>① 北京オリンピックアロケーションリスト上位競技者</p> <p>② 第100回全日本スキー選手権ノーマルヒル大会優勝者 (但しウィンド・ゲートファクターを使用した場合に限定する)</p> <p>■FIS World Cup 札幌大会第1戦選考方法 (派遣人数最大12名)</p> <p>① 2021/22シーズンワールドカップ派遣競技者</p> <p>② 参加資格のある全ての競技者の中より第100回全日本スキー選手権ノーマルヒル大会、12月21日(火)・22日(水)名寄大会の結果をワールドカップポイントに換算した上位競技者(ポイントが同点の場合は最高順位が高い競技者を上位とする)</p> <p>■FIS World Cup 札幌大会第2戦選考方法 (派遣人数最大6名)</p> <p>① 2021/22シーズンワールドカップスタンディング上位競技者</p> <p>② ワールドカップ札幌大会第1戦での競技結果上位競技者</p> <p>■FIS World Cup 蔵王大会第1戦選考方法 (派遣人数最大12名)</p> <p>① ワールドカップ札幌大会派遣競技者</p> <p>■FIS World Cup 蔵王大会第2戦選考方法 (派遣人数最大6名)</p> <p>① 2021/22シーズンワールドカップスタンディング上位競技者</p> <p>② ワールドカップ札幌大会及びワールドカップ蔵王大会競技結果の上位競技者</p> <p>■FIS World Cup Hinzenbach/RAW AIR/Oberhof/Blue Bird選考方法 (派遣人数最大6名)</p> <p>① 2022年1月31日時点のワールドカップスタンディング上位5名の競技者</p> <p>② ノルディックジュニア世界選手権個人戦において上位の成績を収めた競技者の中より担当理事とヘッドコーチで派遣の可否を判断する。</p>	<p>■Zakopane選考方法 (派遣人数4名)</p> <p>①第100回全日本スキー選手権大会NHと12月に開催される第52回名寄ビヤシリジャンプ大会・第37回吉田杯ジャンプ大会・国内記録会の総合結果を参考に選出する。 ※選考対象年齢は2002年～2006年生まれの競技者とし、全日本強化指定選手及び、国内指定選手でFISルールに則って選考する。</p>
コンバインド	<p>NC男子WC</p> <p>■1. WC第1ピリオド(第2次NCA選任) -派遣人数6名</p> <p>①2020/2021WCS55位以内</p> <p>■2. WC第2・第3ピリオド(第3次NCA選任) -派遣人数:クォータ数、またはクォータ数+α(クォータ数が5名に満たない場合最低5名を派遣する)</p> <p>①12/5時点のWRL55位以内、</p> <p>②COC第1PにおけるWCクォータ獲得選手(12/19決定)</p> <p>■3. WC第4ピリオド(第4次NCA選任) -派遣人数:クォータ数+α</p> <p>①WC3P終了時点(1/30)のWRL55位以内、</p> <p>②JWSC個人戦3位以内(WC Schonach大会のみ派遣)</p> <p>NC女子WC</p> <p>■1. WC第1・第2ピリオド(第1次NCW選任) -派遣人数:最大4名(1名は全額自己負担で参加する)</p> <p>①WC出場資格を獲得している選手</p> <p>②前シーズンのWC・COCの成績、9/19チーム内の成績も参考・考慮し、10/30、31の記録会もしくは、どちらか1記録会の順位で選考する</p> <p>■2. WC第4ピリオド (第2次NCW選任)</p> <p>①第2ピリオド終了時点のWCS上位2名</p> <p>②JWSCでメダルを獲得した選手</p>	<p>JWSC男子 -派遣人数:最大4名</p> <p>①COC第1ピリオド(第1次NCB選任)選考基準を突破し派遣された選手</p> <p>②名寄チャンピオン大会および全日本コンバインド大会の2大会ランキング・ゴール時のタイム差 (JWSC権利のある選手) 上位者。指定外選手は、名寄チャンピオン大会または全日本コンバインド大会の最上位選手 (JWSC権利のある選手) を代表候補者とする。</p> <p>③上記の基準により強化スタッフが担当理事に推薦し、担当理事が承認した選手を派遣する</p> <p>JWSC女子 -派遣人数:最大3名</p> <p>①SAJNC強化指定選手、国内指定選手から選考する</p> <p>②WC第1、第2ピリオドで10位以内の成績を獲得した選手</p> <p>③名寄コンバインドチャンピオン競技会、全日本コンバインド大会で優勝した選手</p> <p>④③の2試合で上位入賞した選手</p> <p>⑤WC参戦基準 (案) ・第1、第2ピリオド②を参考にする</p> <p>※①&gt;②…⑤と、数字の小さい基準を優先する</p>
クロスカントリー	<p>対象選手: ナショナルチームメンバー、国内強化A</p> <p>■Period1</p> <p>A.Uチーム</p> <p>* Uチームは年齢条件のないUチーム</p> <p>* リレハンメル/NOR ユニバーシヤード代表選手 (女子選手3名/団体戦参加のため)</p> <p>* Ruka,Lillehammer大会:11/13,14のFISレース/FINにおいて、FISポイント男子60点、女子80点以下で、日本人トップの選手男女各1名</p> <p>■TourDe Ski:</p> <p>最大男女各2名①A.Uチーム</p> <p>■Olympic以降:</p> <p>①Uチーム②当該シーズンWCポイント獲得者③U26以下でFISポイント上位者/最新リスト参照</p>	<p>対象選手: FIS.SAI登録選手 人数:最大男女各4名</p> <p>①FEC上位2レースの合計FISポイント上位者男女各2名 (音威子府、札幌) ②FECレースより上位2レースの合計順位の上位者(音威子府、札幌)</p> <p>* デスタナスレースが1レースの場合もしくは全くレースが開催されなかった場合はナショナルチーム (U,国内強化) より選考、当該シーズンのFISポイントリストNO.5獲得上位者とする。</p> <p>U23</p> <p>対象選手: ナショナルチームメンバー、国内強化A 人数:最大男女各2名</p> <p>当該シーズン獲得FISポイント上位者 (ローラースキー除く)</p> <p>* 1:大会が行われない場合ナショナルチーム (U,国内強化) より選考、当該シーズンのFISポイント上位者</p>
アルペン	別紙参照	<p>選考方法は、U21(2001年～2005年生まれの選手)より、以下基準1、2、3、4の順に適用し決定する。</p> <p>1、2021/2022 15th FISポイントリスト (2022年2月1日発表)のSL、GS、SG種目、いずれかにおいて男子200位、女子150位以内の選手。当該基準の適用により派遣人数の上限を超過する場合、上位者を優先とする。</p> <p>2、2021/2022 15th FISポイントリスト (2022年2月1日発表)のSL、GS、SG種目、いずれかにおいて男子250位、女子180位以内の選手。当該基準の適用により派遣人数の上限を超過する場合、上位者を優先とする。</p> <p>3、2021/2022 15th FISポイントリスト (2022年2月1日発表)のSL、GS、SG種目、いずれかにおいて年代別FISポイントリスト3位以内の選手。当該基準の適用により派遣人数の上限を超過する場合、上位者を優先とし、同順位選手が複数人となった場合は、各選手、同順位となった種目のFISポイントリストを参照し、上位者を優先とする。</p> <p>4、1、2、3の基準適用後、男女それぞれにおいて、派遣人数の上限に満たない場合に限り、2021/202215th FISポイントリスト (2022年2月1日発表)のSL、GS、SG種目、いずれかにおいて上位の選手を、男女別に1名のみ選出する。</p> <p>※派遣人数の上限は、男子2名、女子2名とする。</p> <p>※出場種目は、強化スタッフの判断により決定する。</p> <p>※感染症拡大の影響により、選考基準における適切な選出が難しい状況となった場合、強化スタッフの判断により1、2、3のレベルに相当する選手を優先し、競技本部が承認した場合に限り、世界ジュニア選手権への出場を許可する。</p>